



## パネルディスカッション

### 「農業分野の活性化のための地域金融機関の可能性とその課題」

発言要旨	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5年程度で事業規模を20倍にした。周囲からは無謀な挑戦と言われたが、日本公庫や地方銀行は、私たちの事業に対する思いを信じてくれ、規模が大きくなると事業計画へのハードルが高くなるが、1つの資料と他の資料との連動性や、無理な計画とならないような助言をいただくなど、金融機関によるアドバイスは非常に助かった。</li> <li>○ これまで順調に規模拡大ができたのは、融資のプロである金融機関がスピード感のある対応してくれた、ということが大きいと思う。</li> <li>○ 金融機関からは、用地取得候補地や取引先の紹介を受けたほか、事業承継については、金融機関にさえ相談すれば、会計事務所や司法書士との連携が図られ安心することができた。また、事業拡大に伴う人材の確保は難しかった。素人ばかりで、赤字になったこともあるが、金融機関による人材育成サポートにも助けられた。</li> <li>○ 要望としては、養豚業の場合、天候や飼料等の関係もあり、3～4年の間隔で業績の良い時と悪い時が交互にやってくる。公庫には返済の据置期間といったものがあるが、民間金融機関においてもこれをお願いしたい。金融機関には、長期的な視点を踏まえたサポートを是非お願いしたい。</li> <li>○ また、金融機関には、リスクの説明をしっかりといただき、背中を押して欲しい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当協議会は、県南地域の農林水産事業者や食品製造業者、卸・小売業者、金融機関、行政等を会員として、現在、約800の企業、個人団体等が入会している。県内地域の事業者等を支援するため、個別商談会の開催やキャンペーン、バスツアー等を実施している。</li> <li>○ 金融機関の様々な取組みについては、ありがたいと思っている。農業で地域を活性化させるためには、金融機関による投資やアドバイスは必要と考える。</li> <li>○ 特に、政府系金融機関については、経営状況を良く分析して投資をしてもらっており、とてもありがたい。金融機関が一緒になって事業計画の策定支援や相談を受けてくれることは、中小企業の育成にもつながることであり、引き続き支援・指導をお願いしたい。</li> </ul>

セブンフーズ(株)  
前田代表取締役

くまもと県南フードバレー  
推進協議会  
山下事務局長





(株)夢逢いファーム  
緒方農場長

- 当社は銀行がベンチャーキャピタルと共同で設立した農業法人で、国内での生産実績が少ないアボカド栽培に挑戦しており、収穫は平成31年秋頃を予定している。
- 農業委員会の許可申請など経験のない分野で難しかったが、地元の支援を受けながら取り組むことができた。
- 数年前にアボカド栽培を始めた地元果樹園の指導を受けながら、水やりや除草など、どうにか取り組んでいるが、地元の協力がなければスタートできなかったと思っている。
- 農業の現場は、人手の確保や負担の軽減が待たなしの状況にあり、スマート農業（ICT、ロボット技術を活用して、省力・高品質生産を実現する新たな農業）は欠かせないと思っている。
- 農業に関するノウハウを蓄積し、地域の活性化、地方創生につなげていきたい。



(株)春一番  
吉満代表取締役

- 銀行と県内外の事業パートナーと共同で農業法人を立ち上げた。ゼロからの立ち上げに加え、従業員4名も農業経験ゼロの銀行からの出向者であり、何をしなければならぬのか、何をすれば良いのかも分からなかった。
- 県庁農政部OBなどに話を聴きながら作業を進めたが、色々な選択肢があり判断に苦労した。
- 地域との連携については、県内外の農業法人からの助言や、苗のサンプル提供など、サポートして貰った。
- 農家としての悩みや課題は、農業をやってみないと分からないし、情報の共有もできない。農業法人として、利益の確保ということは必要であるが、農業を活性化させるために設立した法人なので、銀行としての機能も発揮しながら農家を支援していきたい。
- 生産者としての立場で考えることが重要。長期的なスパンの中で事業モデルを確立して、生産者に還元していくことが求められていると考えている。事業承継ということも考える必要があり、持続可能な経営を考え行動していかなければならないと思う。



(株)日本政策金融公庫  
小野部長

- 公庫では、攻めの農業経営を後押しするため、事業性を評価した融資を推進している。経営者の能力、経営戦略、将来ビジョンを見て積極的にリスクをとっていく。
- 当庫としては、民間金融機関の担当者と目線を合わせ、リスクを取れる部分はリスクを取り、一緒にやれることについてはやっていくという形で協力しながらやっていきたい。
- これまでも、新規就農・農業参入、6次産業化への取組み等を支援してきたが、今日の皆さんの話を聞き、引き続き積極的に取り組まなければならないと強く感じた。



(株)鹿児島銀行  
松元室長

- 個人事業主が法人化する際に、組織としてサポートすることが重要と考えている。
- 公庫や銀行が事業計画の策定等を手伝ってくれ助かったといった話を聴き、他行の話ではあるが嬉しかった。当行では、公庫と入り口段階で話をする中で、どのような支援ができるのか、協調融資とするのか等について、色々議論し対応している。
- 畜産会社への支援については、牛が病気で死亡し収益に影響を与えることもある。このような場合に、どうしてこうなったかということを考え、必要な対策と一緒に考えることが重要と思っている。

## 【コーディネーターによる総括】



熊本県立大学  
澤田准教授

- 地域金融機関に対して、農業者の皆さんは専門性を活かした支援を期待している。金融機関が、その専門性をいかして、事業計画の策定支援や各種申請書の作成支援、事業承継のサポートなどを引き続きお願いしたい。
- 事業を始めようとする人に対するリスク説明もきちんと行っていただきたい。
- 本日、ご出席いただいたパネリストより、農業以外の分野から農業法人を立ち上げた、これまでと物事の尺度が変わるほど事業規模を大きく拡大したなどの積極的なチャレンジの話聞いた。
- 全国的にも農業産出額のウエイトの高い九州において、地域金融機関の後押しがあれば、このような新たな挑戦が大きな可能性を生み出すのではないか、これまで九州になかった新産業が生まれる可能性もあるのではないかと感じた。
- 本日は、色々な金融機関による農業への支援について話をさせていただいたが、このような視点を踏まえ、他の地域金融機関においても農業に対して支援をしてもらいたいと思う。